

身体知の認知科学 「こつ」と「スランプ」の研究

報告者： 諏訪正樹氏(慶應義塾大学環境情報学部)

日時： 10月7日(金) 18:30～

場所： 法政大学区市ヶ谷キャンパスキャリア情報ルーム (58年館2階)



＜報告者略歴＞

62年大阪生まれ。84年東京大学工学部卒業。89年同大学院工学系研究科博士課程修了(工学博士)。同年、(株)日立製作所基礎研究所入社。94～6年スタンフォード大学CSLI研究所にて客員研究員。97年オーストラリアシドニー大学建築デザイン学科主任研究員。2000年より中京大学情報科学部助教授。2004年より同教授。2006年より同大学情報理工学部教授。2008年4月より慶應義塾大学環境情報学部教授。熟達、暗黙知、感性、アフォーダンス、創造性はすべて相通じる概念であるという認識の下、からだメタ認知という方法論を駆使して、スポーツ、デザイン、感性開拓の学びなど、身体知を認知科学的観点から研究している。

※公開の研究会です。どなたでも参加できます。(参加費、無料)

※事前に申し込みください。梅崎修(法政大学キャリアデザイン学部)

[@に変更してください。](mailto:umezaki(アットマーク)hosei.ac.jp)